

令和2年度の目玉研究等 工業総合研究所

◆信頼度を高める異物分析のための前処理技術に関する研究 ～高品質なものづくり産業を支えるために～

【背景】

- 近年、県内ものづくり企業の製品が地球規模で流通するようになったため、製品部材に含まれる国内外の規制物質の濃度や製品等に混入・付着する異物の管理のための高度かつ迅速な品質管理が必須となっています。
- これらの分析には、高価な機器や前処理を正確かつ迅速に実施するスキルと経験を必要としますが、製品に使用される材料の多種・多様化により品質管理を必要とする部品の種類と分析数が増える傾向にあり、対象に応じた分析前の処理が重要となっています。

【目的】

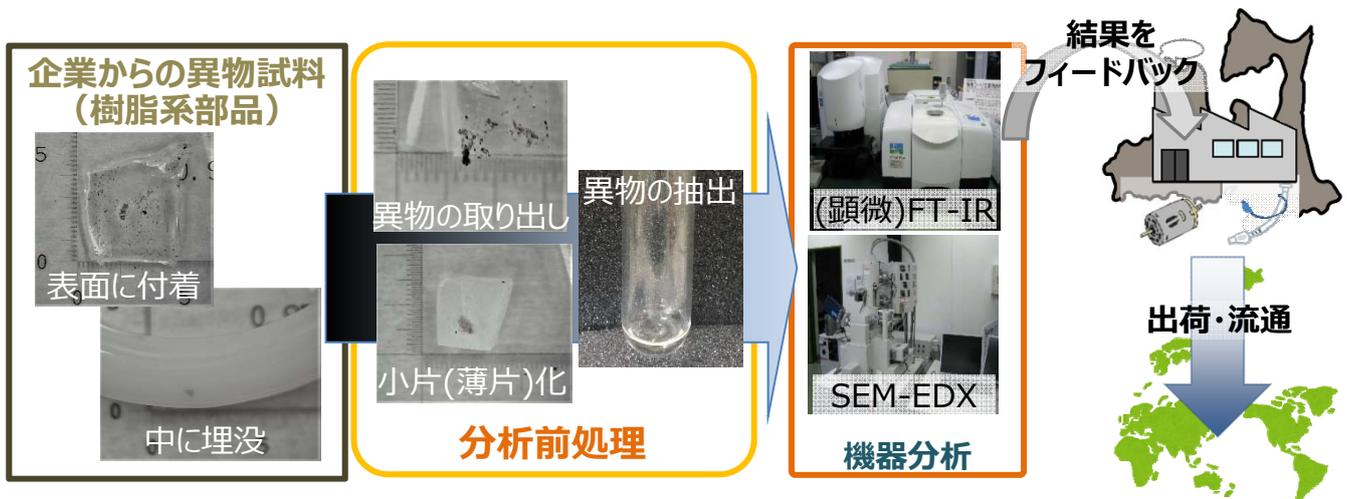
- 県内ものづくり企業の品質及び信頼性の向上を図り、国際競争力のある製品の創出と海外輸出の増加に寄与することを目的に、製品中の規制物質や異物等の簡易、高精度分析のための前処理技術を確立します。

【R2目標】

- R2年度は、プラスチックなどの樹脂部品に着目し、次の2つの技術を確立します。
 - I. 樹脂中に包埋されている有機・無機系異物分析の前処理技術
 - II. 樹脂表面上に付着する有機・無機系異物分析の前処理技術

【今後】

- ・ R3年度は骨や植物などの生体由来、R4年度は油脂や金属・鉱物系の材料の前処理技術を確立していきます。



令和2年度 樹脂部品の異物分析技術による企業支援イメージ

お問い合わせ

工業総合研究所 技術支援部 (電話017-728.0900)



青森産技

あおもりの未来
技術でサポート